

駅からはじまる いつでも散策  
**史跡めぐり!**  
**ハウステンボス**  
**ウォーキングマップ**  
 全長 約7.7km

WC 公衆トイレ 6.5 スタートからの概ね距離

→ 往路 (宇都宮神社まで)

→ 復路 (宇都宮神社から)



- 必ず準備運動を行いましょう。
- 自分のペースで歩きましょう。
- ウォーキング中の負傷等については責任を負いかねます。ご了承ください。
- 休業日や営業時間など、施設により変更の可能性があるため必ず最新情報をご確認ください。



ハウステンボス側の出口を出て  
 すぐ左手の階段を下りる



横断歩道から宮小学校方面へ

梅ヶ枝酒造の駐車場奥に  
 小さな道があります  
 ここを通り、川沿いへ

このエリアには  
 史跡がいくつもあります!

境内までの階段  
 54段

2020年8月現在

**スタート**  
ハウステンボス駅



**道しるべ石**



**宇都宮神社**



**デボ神古墳**



**長競石  
(ナガキソシ)**



**ゴール**  
ハウステンボス駅

お疲れ様でした♪

昭和48年の道路拡張恋路のときに掘り出されたもの。「はやくし 佐世保道」「そのぎ大村道」「はえのさきていしやば」「明治三十三年六月宮」と掘られている。

宮地区の名前の由来となった神社。日清・日露戦争の際に地元・宮地区の戦死者が一人も出なかったため、第二次世界大戦中は出征者の無事を祈る人が各地から訪れた。

昭和46年の発掘調査でまが玉、剣、鏡、須恵器など300点あまりが出土した。この調査により、宮地区の王族三体を埋葬した古墳と判明し、「デボ神古墳」と命名された。

宮村地頭の子・宮村悪四郎が、身長が高くて力が強かったことを後の人にわかってもらうために奥山から石をわきにはさんで運んできたといわれる。石仏、かつば石とも呼ばれている。

**小佐々弾正・甚五郎塚  
(コサザダンジョウ・ジンゴロウツカ)**



永禄12年(1569年)「葛の峠の合戦」で討死した大将・小佐々弾正と副将・小佐々甚五郎の武勇と戦功をたたえるために建立された墓所である。ヨーロッパに派遣された天正遣欧少年使節団のひとり「中浦ジュリアン」は小佐々甚五郎の子である。

**南風崎駅  
(ハエノサキエキ)**



明治31年開業。第二次世界大戦後の昭和20年10月から24年4月までの間、海外から佐世保港浦頭に引き揚げてきた人が、この駅から故郷に帰る列車に乗った。

**無窮洞  
(ムキュウドウ)**

**必見!**



第二次世界大戦中に宮国民学校の子もたちが約2年かけて掘った巨大な防空壕。避難中でも授業や生活ができるように教室もある教室、トイレや炊事場、食料倉庫などが設けられている。

見学のお問合せ  
9:00~16:30  
無窮洞詰所 ☎ 0956-59-2003

**梅ヶ枝酒造**



天明年間(1780年頃)創業の造り酒屋で、近くには平戸往還(街道)が通っている。江戸時代の創業当時の建物を含む建物群は伝統的な酒造業の実態を知ることができ、国登録有形文化財に指定されている。

《営業時間》 平日9:00~18:00  
土・日・祝 9:00~17:00  
☎ 0956-59-2311

蔵見学について(前日までに予約)  
日本酒・焼酎造りの蔵の見学が可能。  
時期によっては醸造タンクをのぞいて見ることもできる。  
時間 10:00~12:00・13:00~16:00  
所要時間 約30分  
無料  
※作業都合等によって見学ができない日もあります

**早岐瀬戸について**

ハウステンボス駅の前にある水の流れ。  
佐世保湾と大村湾をつなぐ海峡で、「早岐瀬戸」と言います。  
幅員が平均125m、もっとも狭いところでは10m程度しかありません。  
川のように見えますが、れっきとした海なんです!